



| チェック項目 | はい ○ | わからない い (無回答) | いいえ × | 工夫点 | 職員間の改善目標他 |
|--|---------|---------------------|----------|----------------------------|---|
| 環境・体制整備 | | | | | |
| 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | | | | |
| 職員の配置数は適切であるか | 100% | | | | |
| バリアフリー化の配慮等が適切になされているか | 100% | | | | |
| 業務改善 | | | | | |
| Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)サイクルに則り、職員が計画や相談に加わっているか | 80% | 20% | | 支援計画をもとに医療、療育、リハビリ情報提供文書作成 | 今現在、システムの大規模変更を行っております。よりよい支援を行えるように改善したいと考えております。 |
| 保護者の意向等を把握し、評価を実施し、業務改善につなげているか | 60% | 40% | | | |
| 事業所としての自己評価を行い、支援の質の評価及び改善内容を公開しているか | 80% | 20% | | | システム改善後、現状の質を高められるように精進して参ります。 |
| 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 80% | | 20% | 医師・関係機関等による見学とアドバイス | 第三者評価の指定事業所は北海道では3か所となっており、外部評価は難しいのですが、関係機関等に状況の客観的な意見や指導を頂いていきます。 |
| 職員の資質の向上にむけた研修を行っているか | 100% | | | | 療育、医療処置等について、今後も研修を重ねていきます。 |
| 適切な支援の提供 | | | | | |
| アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか | 100% | | | | |
| 個別支援計画に沿った支援が行われているか | 80% | 20% | | 支援内容の見直し | 会議内容の充実を心がけます。 |
| 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100% | | | | |
| 活動プログラムが固定化しないように工夫をしているか | 100% | | | | |
| 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 80% | 20% | | | より個別に課題を設定し、インクルーシブの考えのもと、支援していきます。 |
| 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか | 80% | 20% | | | |
| その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 100% | | | | 療育情報文書を確認しながら支援内容を伝えあっています。 |
| 行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか | 80% | 20% | | | 今後、より振り返りの機会をつくり、共有を高めていきます。 |
| 日々の支援に関して正しく支援記録をとり、支援の検証や改善につなげているか | 100% | | | | |
| 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | | | | |
| 放課後等デイサービスガイドラインの基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 60% | 40% | | | 職員間でガイドラインを基本とした支援について話し合っていきたいと思います。 |
| 保護者や関係機関との連携 | | | | | |
| 担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい職員が参画しているか | 100% | | | | |
| 学校との情報共有を行い、連絡調整をしているか | 100% | | | | 医療、療育リハビリの各情報提供文書を作成することにより、関係機関との情報共有を行うことができつつあります。 |
| 医療的ケアの部分において、子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか | 100% | | | | |
| 就学前に利用していた児童発達支援事業所等との情報共有や相互理解を図っているか | 100% | 100% | | | |

| | | | | | |
|--|------|-----|-----|--------------------------|---|
| 学校を卒業し（18歳）、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか | 80% | 20% | | | 今現在は、まだ卒業される方が1名しかおりませんでした。その際は情報を提供できております。今後も必要に応じ、情報提供をしていきます。 |
| 他の専門機関（主治医、旭児連、学校、相談支援専門員等）と連携し、助言や研修を積極的に受けているか | 100% | | | | |
| 障がいのない子どもたちと交流や活動する機会があるか | | 20% | 80% | | どのように交流をしていくか、感染予防を十分考慮し、計画をたてていきます。 |
| 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか | 100% | | | | |
| 保護者の対応力の向上を図る観点から、家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の支援を行っているか | 40% | 40% | 20% | 医療・療育・リハ 情報提供文書の作成と提示 | 医療、療育、リハビリを含め、サポートを行う努力をいたします。 |
| 保護者への説明責任等 | | | | | |
| 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明をしているか | 100% | | | | |
| 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | | | | |
| 保護者会や保護者の集う会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 40% | 60% | | 保護者会の検討 | 保護者が集まり交流できる機会を今後も行っていきます。 |
| 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、相談や申し入れに対して迅速に対応しているか | 100% | | | | |
| 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか | 100% | | | | より細やかな情報提供を行います。現在は、通信、ニュースター、HP、Facebook になります。 |
| 個人情報の取り扱いに十分注意しているか | 100% | | | | |
| 子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | | | | |
| 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか | 60% | 40% | | 健康体操の再開検討 | 昨年行っておりまして、地域の健康教室等を含め、今後行えるか検討していきます。 |
| 非常時の対応 | | | | | |
| 緊急時マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を実施しているか | 80% | 20% | | | 個別マニュアルの見直しを現在、行っております。 |
| 定期的に避難訓練や救出訓練を行っているか | 100% | | | | 年に春と秋の2回避難訓練を開催しています。 |
| 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 100% | | | | |
| ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 80% | 20% | | | 振り返りの機会を今後は加えてもっていきます。 |
| 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか | 100% | | | | |
| どのような場合に身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、十分な研修と説明を行った上で、個別支援計画に記載しているか | 60% | 40% | | | 現在、身体拘束を必要とするお子さまは当施設にはおりませんが、強度行動障害基礎研修を修了した者を配置しています。 改めて検討し、適切に対応してまいります。 |

この自己評価結果（公表）は、事業所全体で行った自己評価です。